
桜並木通りで会いましょう～彼と彼女のその後～

比嘉 イズル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜並木通りで会いましょう彼と彼女のその後

【Nコード】

N8570B

【作者名】

比嘉 イズル

【あらすじ】

『5年後、お互いに忘れてなかったらまた逢おう…』そう約束して別れた彼と彼女。その5年目…。彼と彼女は約束の場所で再会した…その後のお話。

(前書き)

前作

桜並木通りで会いましょう

のその後のお話。

少し長いエピソードとお考え頂ければ幸いです。

『5年後、お互いに忘れてなかったらまた逢おう…』
そう約束して別れた彼と彼女。
その5年目…。

彼と彼女は約束の場所で再会した…その後のお話。

喫茶店ボンクラージュ。

窓際の一番奥に二人はいた。

「どうして来てくれたの？」

彼女はアイステイーをカラカラとイジリながら聞いた。

「どうして？…か…。」

彼は微笑みながら話始めた。

「…芽衣と別れた後、最初は2人で過ごした部屋が広い事に気付いたんだ…。」

淡々と語る彼と見つめる彼女。

「次はいつもついてた灯りが消えてて…って芽衣が居なくなったら当たり前なんだけど…（苦笑）」

…ソレが寂しかったんだよね。」

少し瞳を伏せて…

それでも語り続ける彼…。

「部屋は散らかり放題だし…（笑）」

…そしたらさ、どんなに芽衣に支えられてたのかを思い知ったって
いうか…うん…そんな感じかな？」

一人頷きながら彼女に聞く。

「芽衣は？どうして来てくれたの？」彼女はグラスの氷をカラカラ
といわせながら語った。

「…優介は優しくて…いつだってわたしのワガママを聞いてくれて
たのね…勘違いしてた。それが普通のコトなんだって。」

寂しそうに微笑む彼女。

「ホントは違うのにな…。(苦笑)」

お互いに思いやることの出来る関係になるまでの時間が2人には必要だったのだと…

互いの5年間は、

きっと考える時間だったのだと彼と彼女は考える。

「会えて良かった…。」

彼と彼女は同時に呟いていた。

お互いに見つめ合いクスクスと笑い出す。

それから2年の月日が流れて…彼と彼女は永遠の愛を神の前で誓った。

二度とその手を離さないようにと…。

(後書き)

アナタのお気に召して頂けたでしょうか？
もしそうなら光栄です。

またお会い出来る日を夢見て…。

アナタの上に幸福の嵐が吹き荒れます様に…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8570b/>

桜並木通りで会いましょう～彼と彼女のその後～

2010年12月26日14時08分発行